「第 12 回 愛媛県勤労者定期観測調査」報告書
（2017 年 5 月調査）

2017 年 9 月 28 日

[はじめに]

一般社団法人愛媛県労働者福祉協議会では，愛媛県内勤労者の福祉を推進するための基礎資料を得ることを目的に，県内勤労者を対象にした景況調査を実施しています。当報告書では，2017 年 5 月に実施しました「第 12 回調査」の結果を報告します。調査にご協力いただきました加盟団体・事業所，ご回答いただきました方々にお礼申しあげます。

[調査概要]

① 調査名称：愛媛県勤労者定期観測調査（愛媛県勤労者短観）
② 調査対象：一般社団法人愛媛県労働者福祉協議会に登録する 105 団体・事業所の勤労者
③ 調査項目：勤労者の景況感，仕事の現状，暮らし向き等
④ 調査実施期間：年 2 回 5 月・11 月，第 12 回調査 2017 年 5 月 10 日～6 月 9 日
⑤ 回答数：第 12 回調査登録者数：460 名，回答者数：344 名，有効回答数：342
⑥ 調査方法：質問票によるアンケート調査（郵送調査法）

[主な調査結果概要・総括]

1．業況　前回調査（2016 年 11 月）と比較して今回調査（2017 年 5 月）では，愛媛県内勤労者からみた県内の経営状況 DI は上昇し，調査開始以来，最も高い値になった。業種別でみると，製造業・非製造業ともに上昇したが，非製造業で上昇幅が大きかった。（問１）

2．賃金収入　1 年前と比べた賃金収入は，前回調査と比較して「増えた」の割合が増加し，「減った」の割合が減少した。賃金収入 DI は大幅に上昇し，経営状況 DI と同様に，調査開始以来，最も高い値になった。業種別では，非製造業の DI の上昇幅が大きかった。（問４）

4．世帯の収入・支出　長期的にみて，世帯収入 DI が改善傾向にあるのに対し，世帯支出 DI は横ばいで推移している。（問６，７，８）

5．暮らし向き，生活の満足感　世帯の暮らし向き DI，生活満足 DI ともに上昇し，調査開始以来，最も高い値になった。（問９，１０）

6．総括

今回の第 12 回（2017 年 5 月）調査では，県内勤労者からみた愛媛県内の業況は上向きであった。また，賃金収入の増加という形で，勤労者へ景気の波及を確認できた。全体として，勤労者の暮らし向き，生活の満足感は上向きに推移している。一方，勤め先の仕事の満足感の伸び悩みもみられた。今回の調査では，複数の指標で「調査開始以来，最も高い値」が記録されたが，このことから景気は良好と判断するだけでは早計であり，勤労者の立場に立った，より詳細な景気動向分析が今後の課題である。

第12回　愛媛県勤労者短観調査　回答者属性

アンケート有効回答数	342

性別	人	%
男性	247	72.2
女性	95	27.8

年齢構成	人	%
20歳代	39	11.4
30歳代	97	28.4
40歳代	117	34.2
50歳代	78	22.8
60歳以上	11	3.2

家族構成	人	%
1・・あなた(①)	46	13.5
2・・あなた/親(①④)	41	12.0
3・・あなた/親/その他(兄弟)(①④⑤)	1	0.3
4・・あなた/子ども(①③)	10	2.9
5・・あなた/子ども/親(①③④)	2	0.6
6・・夫婦(①②)	42	12.3
7・・夫婦/子ども(①②③)	157	45.9
8・・夫婦/親(①②④)	11	3.2
9・・夫婦/子ども/親(①②③④)	24	7.0
10・・その他(それ以外の組み合わせ)	8	2.3

居住地	人	%
東予	121	35.4
中予	156	45.6
南予	58	17.0
その他	7	2.0

勤務地	人	%
東予	123	36.0
中予	156	45.6
南予	61	17.8
その他	2	0.6

勤続年数	人	%
5年未満	24	7.0
5年以上15年未満	136	39.8
15年以上25年未満	85	24.9
25年以上	97	28.4

従業員数	人	%
9人以下	20	5.8
10～49人	42	12.3
50～99人	18	5.3
100～499人	100	29.2
500～999人	53	15.5
1000人以上	106	31.0
NA	3	0.9

業種	人	%
民間製造業	123	36.0
民間非製造業	161	47.1
公務員	28	8.2
その他(医療、福祉団体等)	30	8.8

就業形態	人	%
正規	307	89.8
非正規	34	9.9
NA	1	0.3

労働時間	人	%
20時間未満	14	4.1
20～30時間未満	12	3.5
30～40時間未満	65	19.0
40時間	42	12.3
41～50時間未満	151	44.2
50～60時間未満	45	13.2
60時間以上	12	3.5
NA	1	0.3

年収	人	%
200万円未満	22	6.4
200万円~400万円未満	107	31.3
400~600万円未満	132	38.6
600~800万円未満	64	18.7
800万円以上	16	4.7
NA	1	0.3

勤続年数

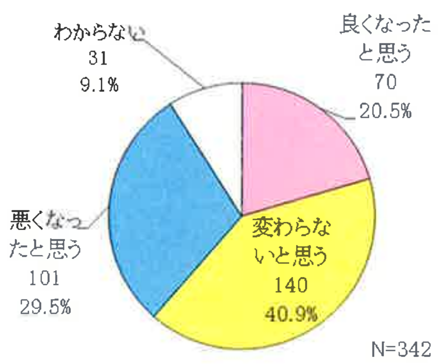
平均(年)	17.2
中央値	15
最頻値	9

[調査結果]

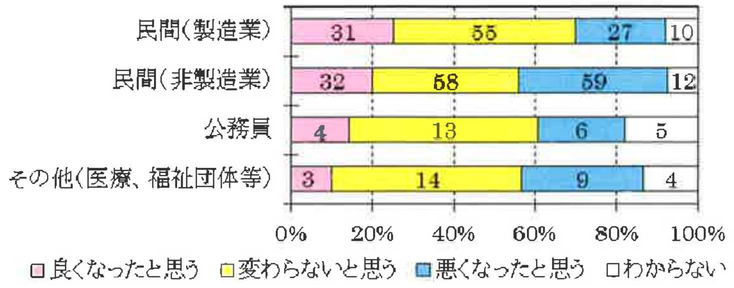
1．勤め先の経営状況

「勤め先の経営状況」については，前回調査（第11回2016年11月調査）と比較して，1年前と比べて「良くなったと思う」の割合が増加し，「悪くなったと思う」の割合が減少した。その結果，全業種でみた経営状況DIは上昇し（9.6ポイント上昇），調査開始以来，最も高い値になった。業種別でみると，製造業・非製造業ともに上昇したが，非製造業で上昇幅が大きかった（それぞれ，5.0ポイント，18.7ポイント上昇）。

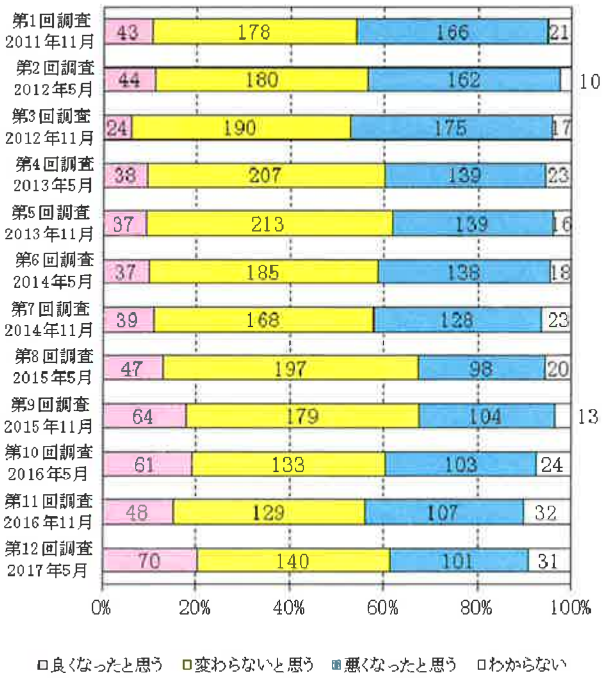
問1　勤め先の現在の経営状況
（1年前と比べて）



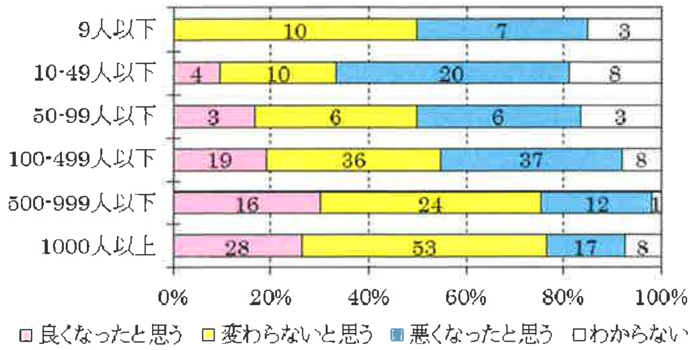
業種別にみた勤め先の経営状況（1年前と比べて）



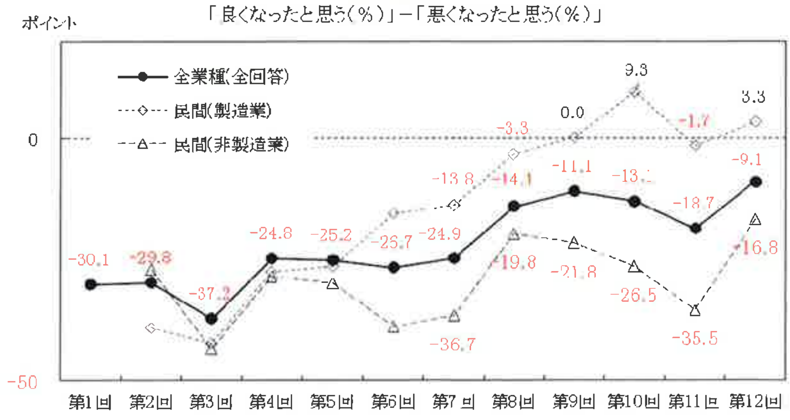
問1　勤め先の現在の経営状況（1年前と比べて）



従業員数別にみた勤め先の経営状況（1年前と比べて）



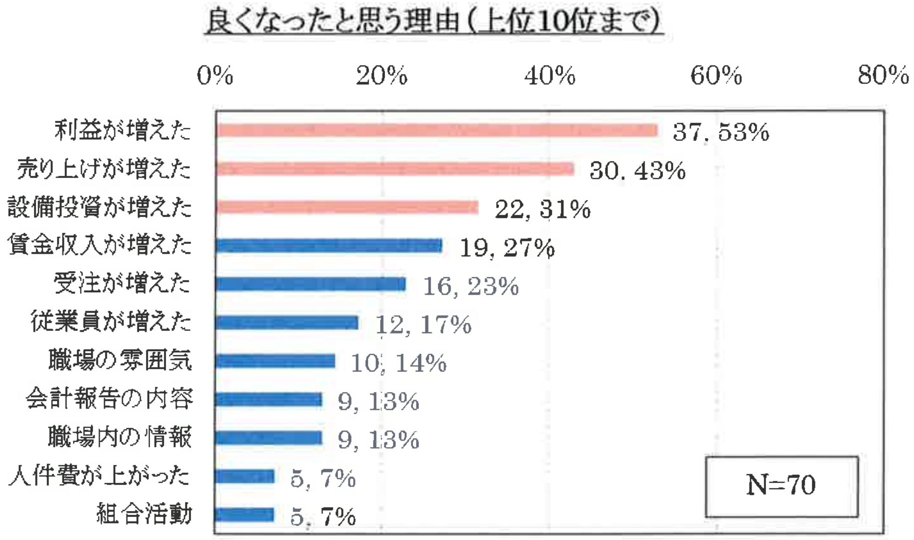
経営状況DI
「良くなったと思う（％）」－「悪くなったと思う（％）」



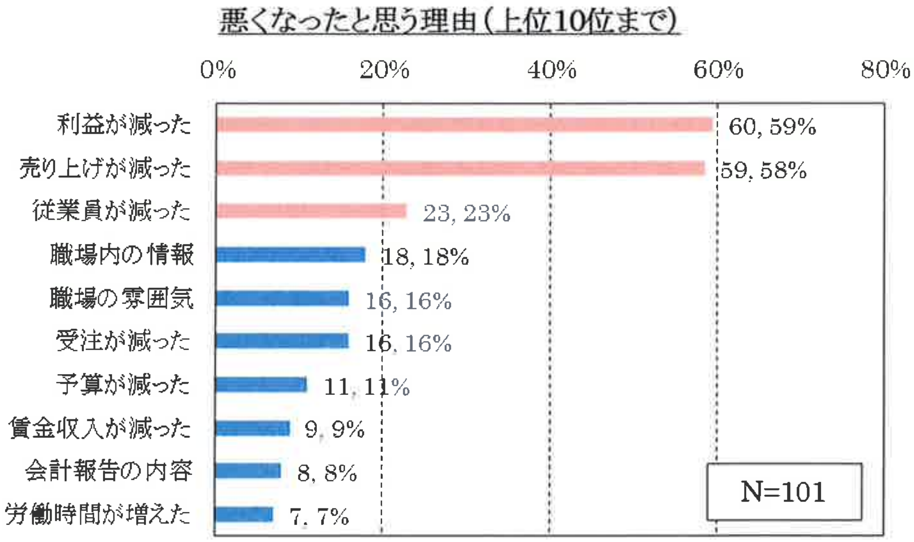
(注)全業種は，民間(製造業)，民間(非製造業)，公務員，その他(医療，福祉団体等)からなる。

1－1．勤め先の経営状況について，「良くなったと思う」理由，「悪くなったと思う」理由

「良くなったと思う」理由，「悪くなったと思う」理由ともに，前回調査と大きな変化はなく，「利益」の増減と「売り上げ」の増減が上位に来た。

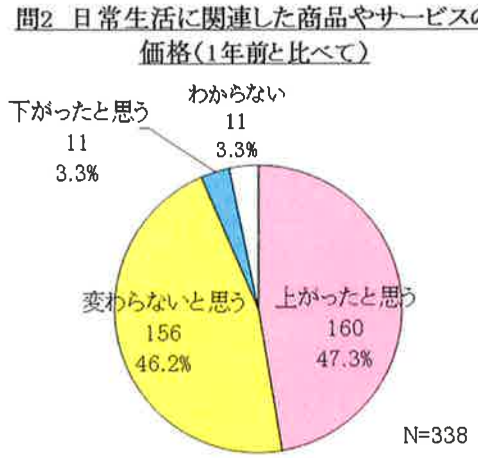


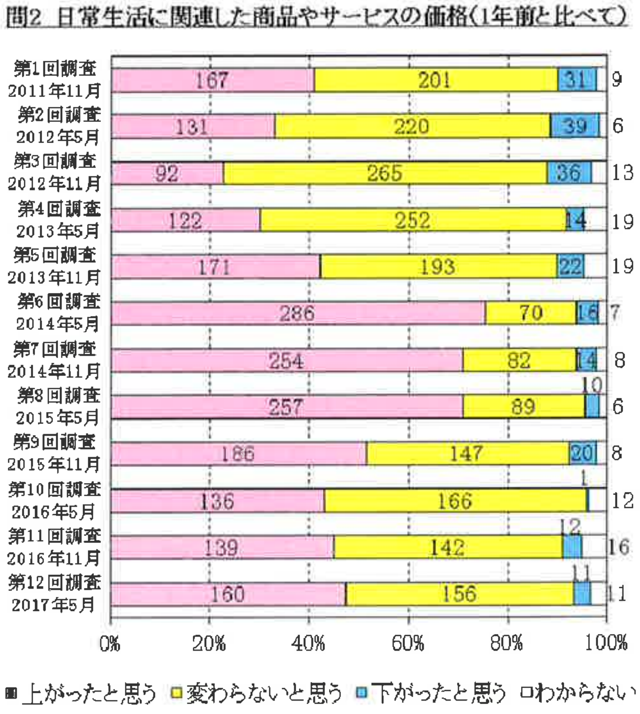
（注）横棒の右の数字は選択数と選択率。

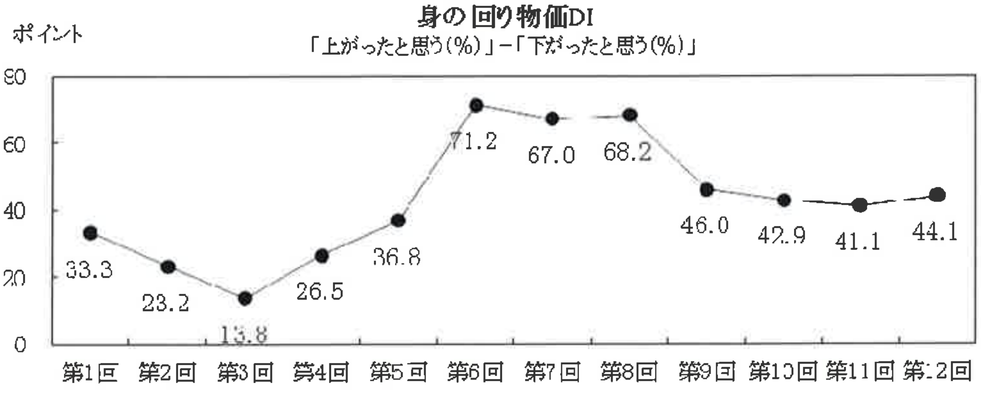


2．身の回りの物価

1年前と比べた「身の回りの物価」については，前回調査と比較して「上がったと思う」の割合が僅かに増加し，身の回り物価DIは僅かではあるが反転上昇した(3.0ポイント上昇)。

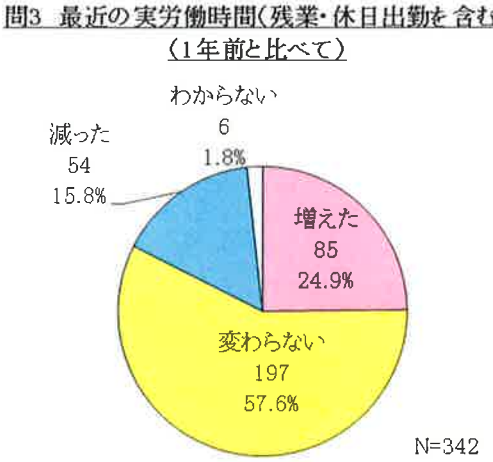


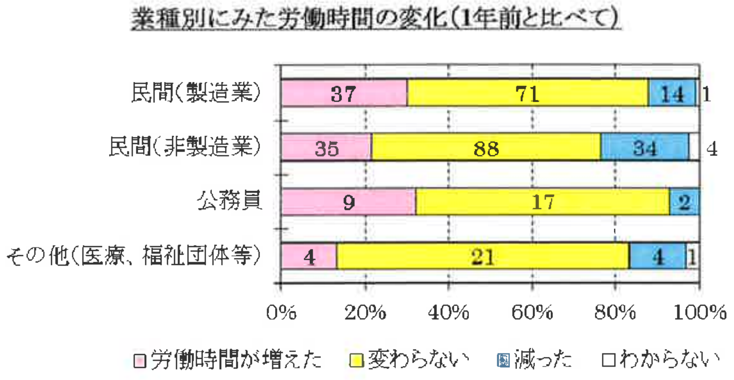


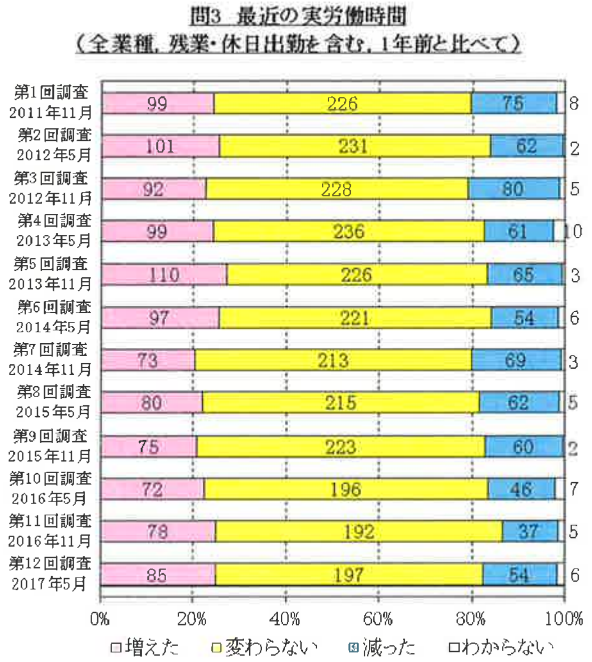


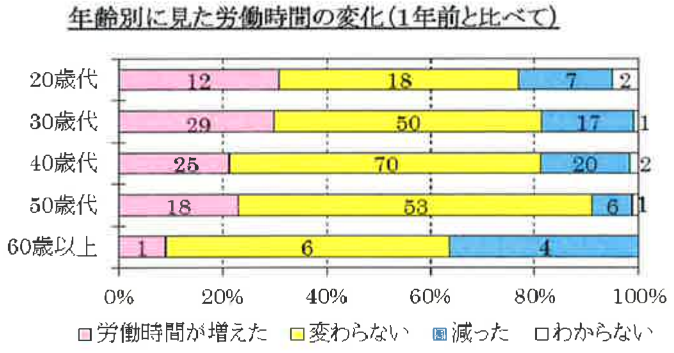
3．実労働時間

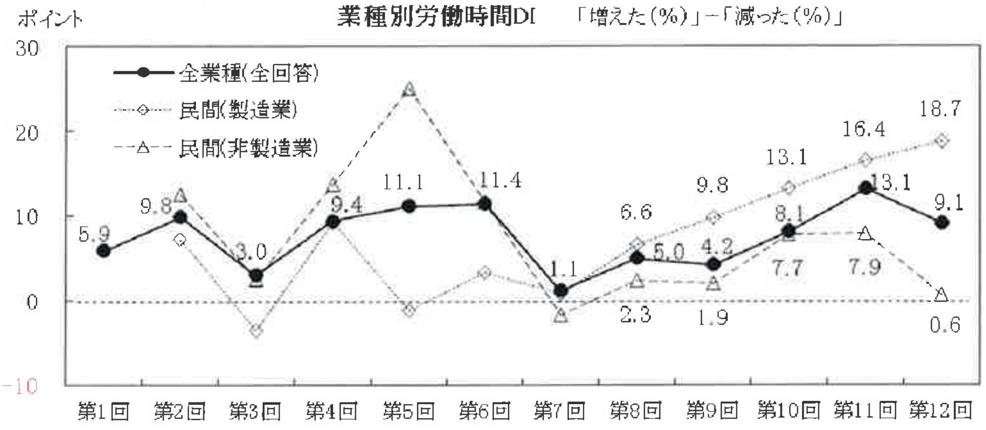
最近の実労働時間については，前回調査と比較して「増えた」とする割合はほぼ変わらず，「減った」の割合が増加した（3.9%増加）。その結果，労働時間DIは下落した（4.1ポイント下落）。業種別，年齢別で，変化にやや違いがみられた。







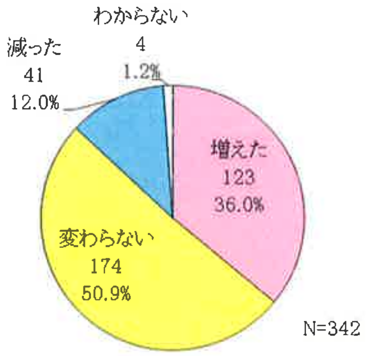




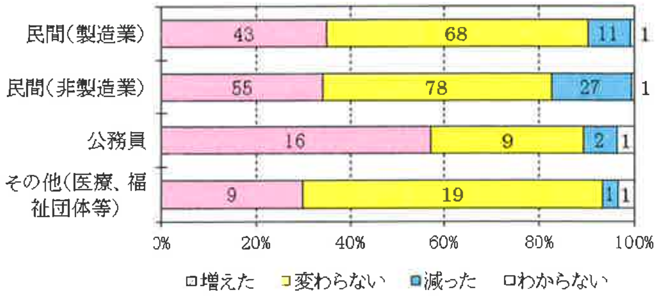
4．賃金収入

1年前と比べた賃金収入は，前回調査と比較して「増えた」の割合が増加し，「減った」の割合が減少した。前回調査と同様に，業種別で公務員が，地域別で南予が，年齢別では年齢の若い層ほど「増えた」とする割合が高かった。全体でみた賃金収入DIは大幅に上昇し（10.2ポイント上昇），調査開始以来，最も高い値になった（24.0ポイント）。業種別では製造業のDIが高いものの（26.0ポイント），非製造業のDIの上昇幅が大きかった（14.5ポイント上昇）。

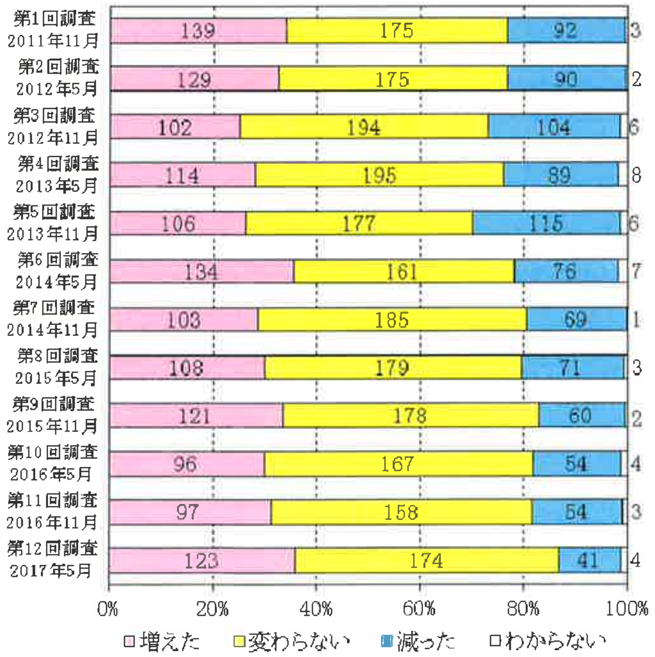
問4 あなたの賃金収入(1年前と比べて)



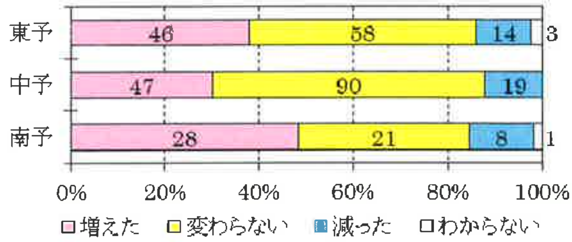
業種別にみた賃金収入の変化(1年前と比べて)



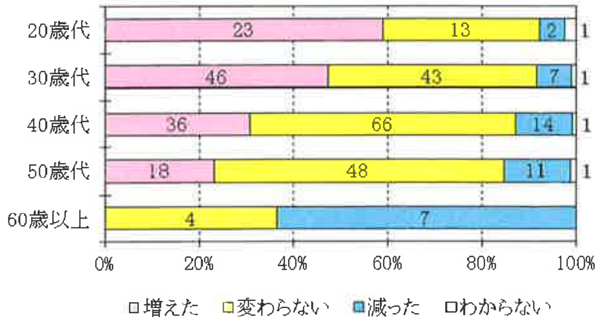
問4 あなたの賃金収入(1年前と比べて)



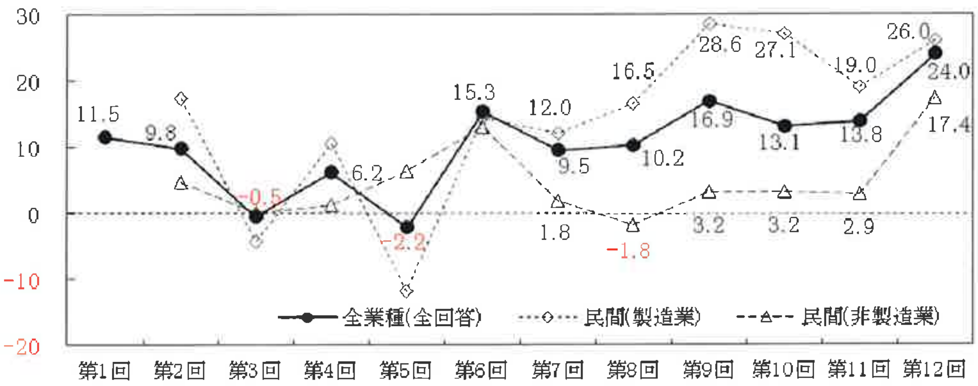
居住地別にみた賃金収入の変化(1年前と比べて)



年齢別にみた賃金収入の変化(1年前と比べて)



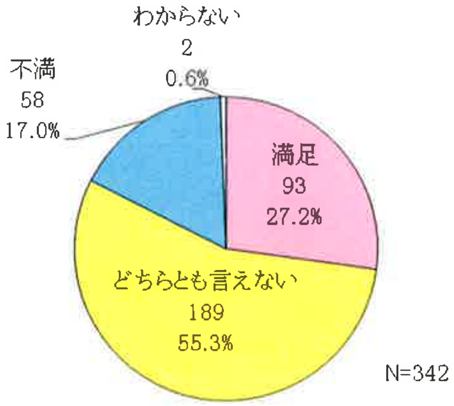
業種別賃金収入DI　「増えた(%)」−「減った(%)」



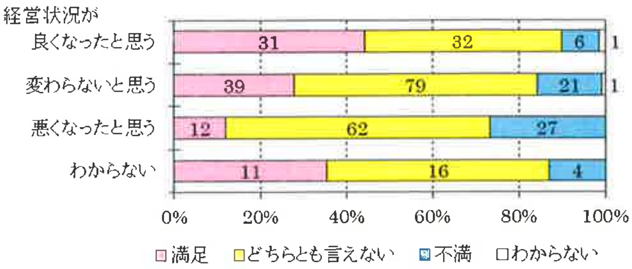
5．勤め先の仕事の満足感

勤め先の仕事の満足感について，前回調査と比較して「満足」の割合が減少し，「不満」の割合が増加した。仕事満足DIは下落した（5.2ポイント下落）。「仕事の満足感」と勤め先の「経営状況」「年収」「賃金収入の増減」「実労働時間の増減」との間に関連性がみられた。

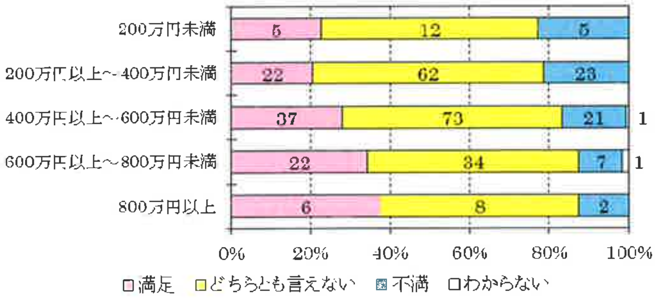
問5 仕事の満足感



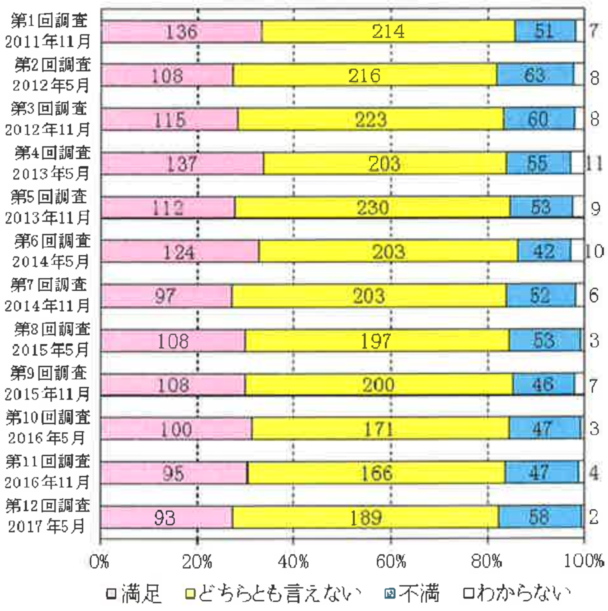
経営状況別にみた仕事の満足感



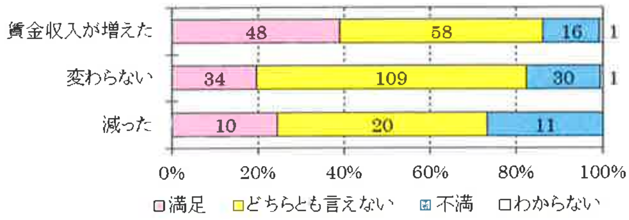
年収別にみた仕事の満足感



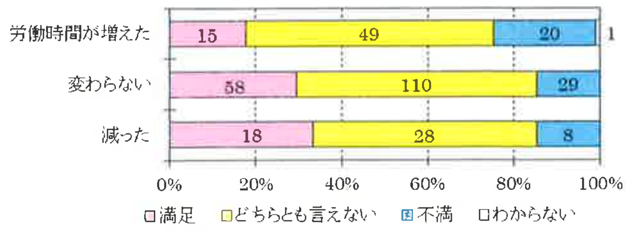
問5 仕事の満足感



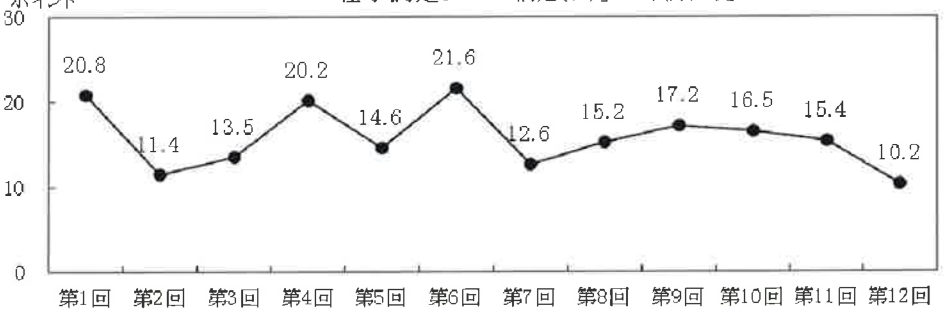
賃金収入の増減別にみた仕事の満足感



実労働時間の増減別にみた仕事満足度



仕事満足DI 「満足(%)」－「不満(%)」

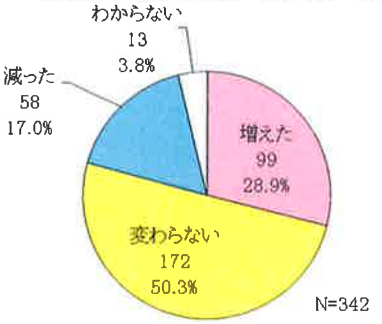


〈暮らし向きについて〉

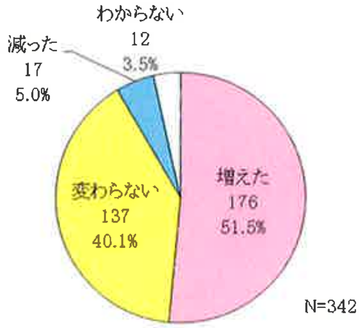
6．世帯全体の収入，支出（問6，問7の結果）

世帯全体の収入は，前回調査と比較して「増えた」の割合が増加し，「減った」の割合が減少した。その結果，世帯収入DIは増加した（5.3ポイント上昇）。世帯全体の支出は，「増えた」の割合がやや増加し，世帯支出DIは僅かに上昇した(1.9ポイント上昇)。調査開始時から今回調査までをみると，世帯収入DIにやや改善傾向がみられるに対し，世帯支出の方は「増えた」の割合がほぼ過半数に達したままで，世帯支出DIは横ばいで推移している。

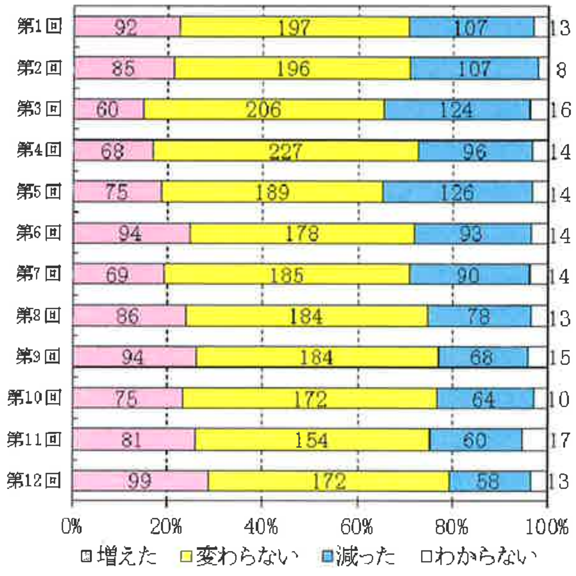
問6　世帯全体の収入(1年前と比べて)



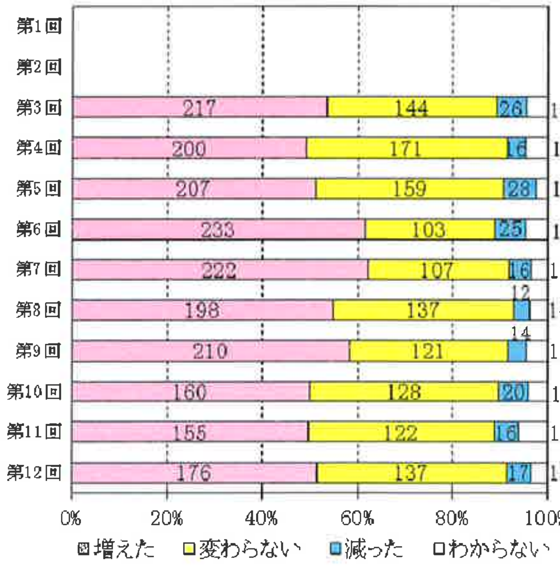
問7　世帯全体の支出(1年前と比べて)



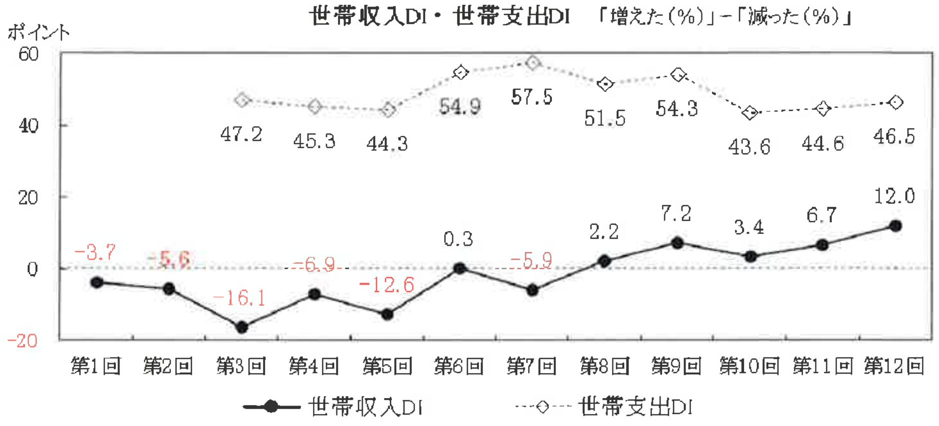
問6　世帯全体の収入(1年前と比べて)



問7　世帯全体の支出(1年前と比べて)



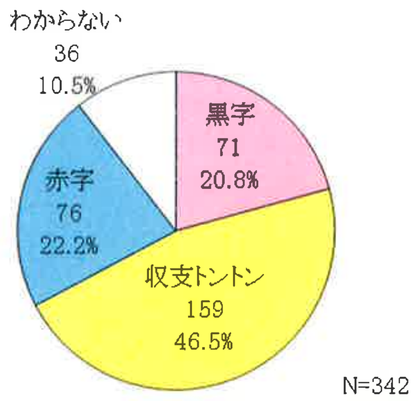
世帯収入DI・世帯支出DI　「増えた(%)」－「減った(%)」



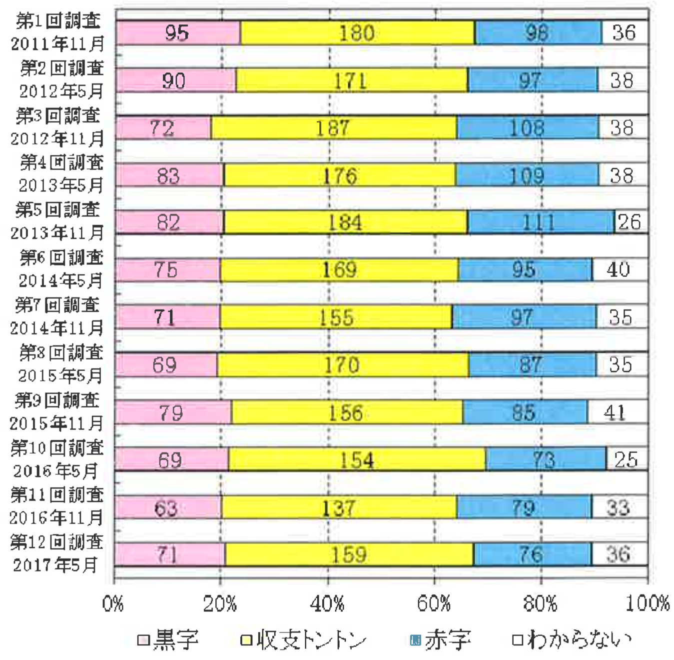
7．世帯全体の収支

世帯全体の収支は，前回調査と比較して「赤字」の割合が減少し，その結果，世帯収支DIは改善した（3.7ポイント上昇）。

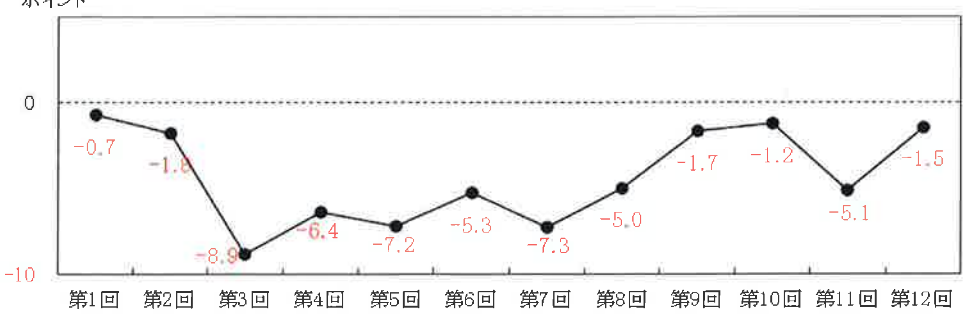
問8 1年間の世帯全体の収支



問8 1年間の世帯全体の収支



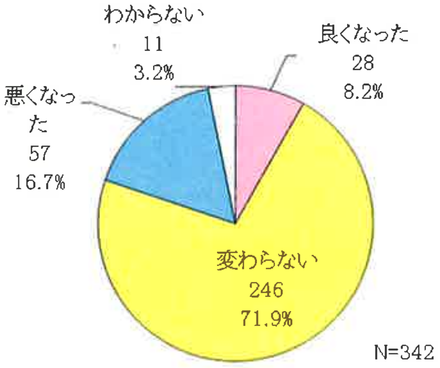
世帯収支DI　「黒字(%)」－「赤字(%)」



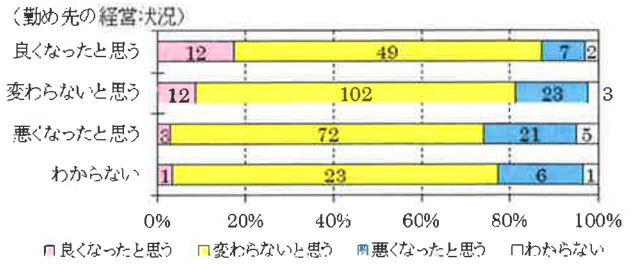
8．世帯の暮らし向き

世帯の暮らし向きは，前回調査（2016年5月調査）と比較して「良くなった」の割合が僅かに増加し，「悪くなった」の割合が減少した。その結果，世帯の暮らし向きDIは改善した（5.9ポイント上昇，依然としてマイナス値であるが，調査開始以来，最も高い値）。回答者の「暮らし向き」の回答と，「勤め先の経営状況」「年齢」「世帯の収支」「賃金収入の増減」の回答との間に関連性がみられた。

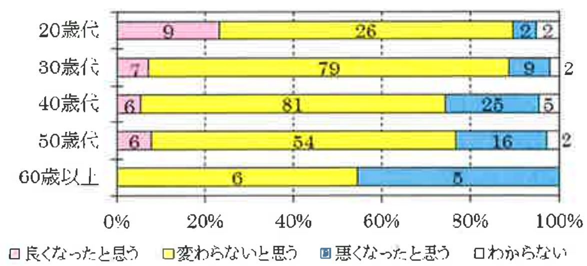
問9　世帯の暮らし向き（1年前と比べて）



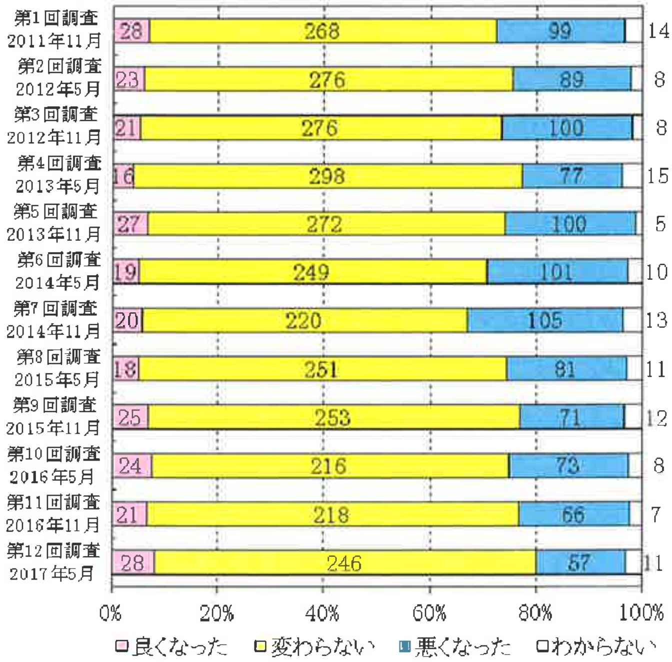
勤め先の経営状況別にみた世帯の暮らし向き（1年前と比べて）



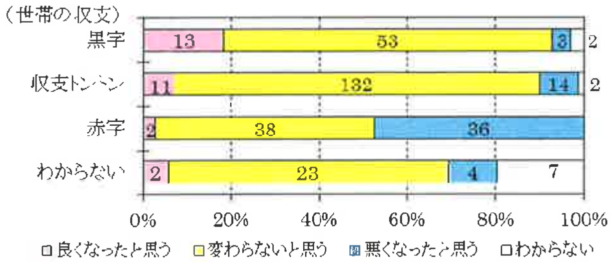
年齢別にみた世帯の暮らし向き（1年前と比べて）



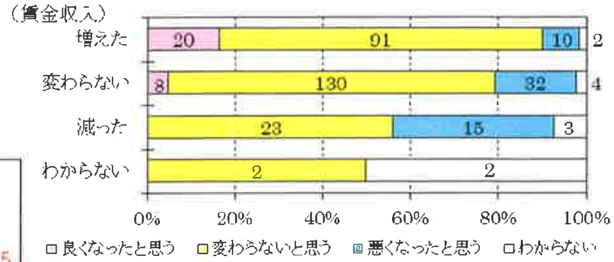
問9　世帯の暮らし向き（1年前と比べて）



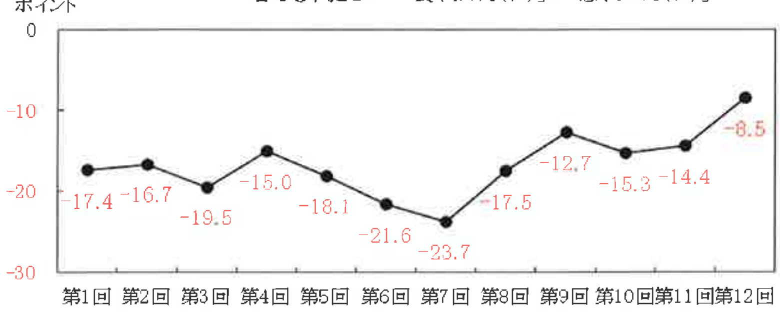
世帯の収支状況別にみた世帯の暮らし向き（1年前と比べて）



賃金収入の増減別にみた世帯の暮らし向き（1年前と比べて）



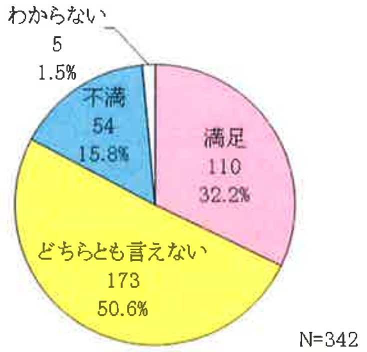
暮らし向きDI　「良くなった(%)」－「悪くなった(%)」



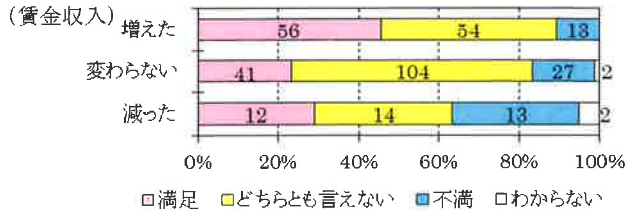
9．生活の満足感

生活の満足感は，前回調査と比較して「満足」の割合は変わらず，「不満」の割合が微減した。その結果，生活満足DIは僅かに上昇した（2.6ポイント上昇，調査開始以来，最も高い値）。これまでの調査結果と同様に「賃金収入の増減」「世帯収支」「仕事の満足感」「暮らし向き」「年収」との関連性がみられた。

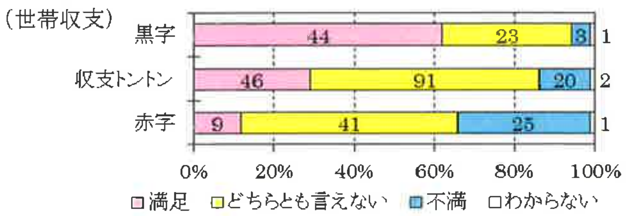
問10 生活の満足感



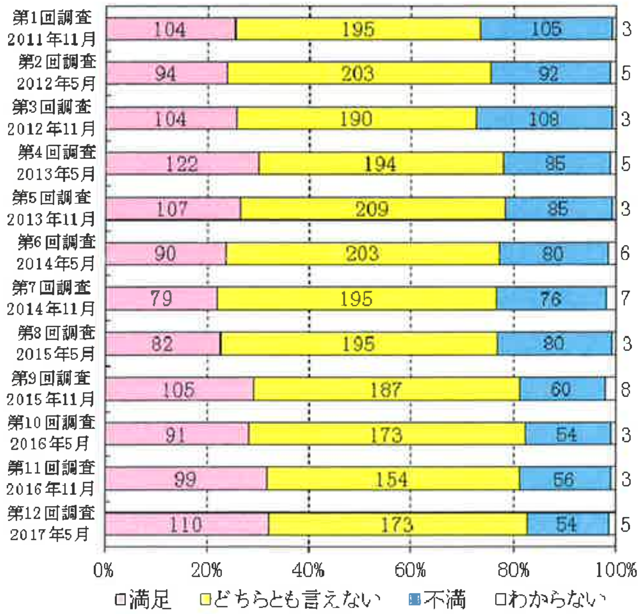
賃金収入の増減別にみた生活の満足感



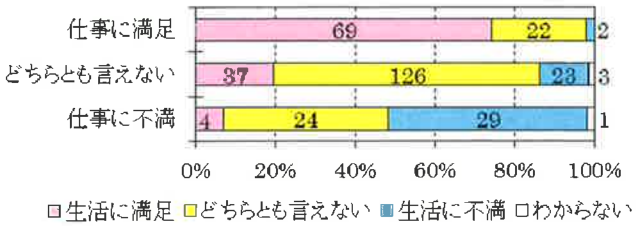
世帯収支別にみた生活の満足感



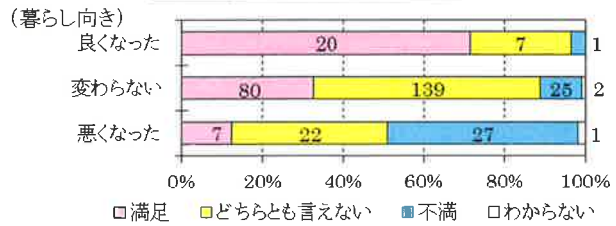
問10 生活の満足感



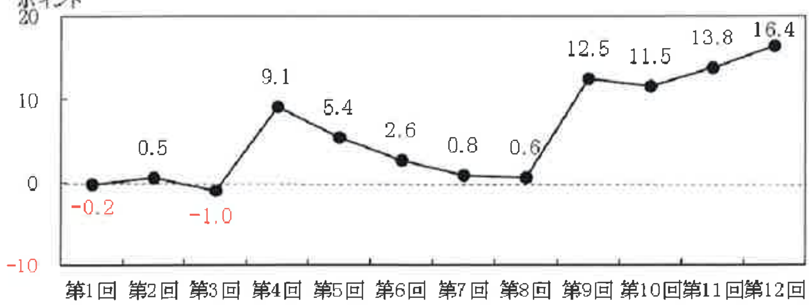
仕事の満足感と生活の満足感



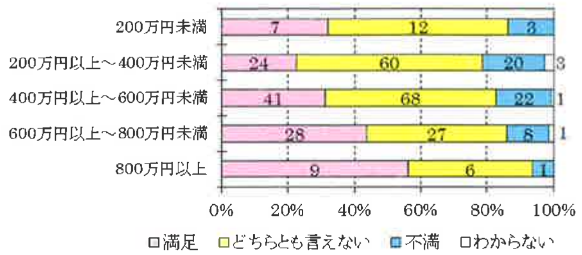
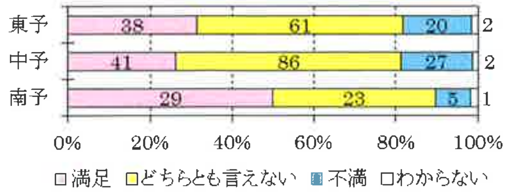
世帯の暮らし向きと生活の満足感



生活満足DI 「満足(%)」−「不満(%)」



年収別にみた生活の満足感



居住地別にみた生活の満足感